

新嵐山スカイパークの今後について

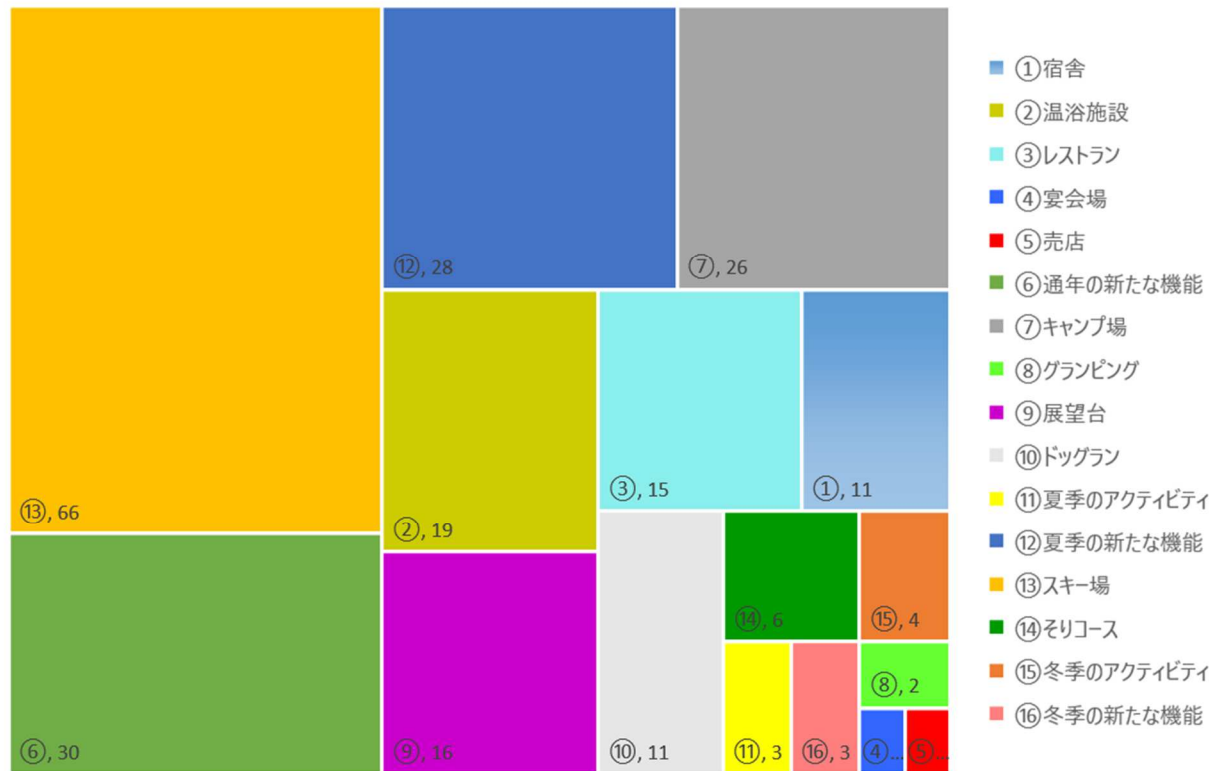
1 町民意見の集約

(1) 町民意見募集

ア 概要

これからの新嵐山スカイパークに求めるもの、欲しい機能、やってみたいことなどについて、11月10日～30日の期間で意見募集をしたところ、135件の意見をいただいた。

イ 意見の傾向



【主な意見】

⑬ スキー場

- ・スキー場は芽室町民だけではなく十勝管内から多くの利用者がいると思います
- ・スキーが出来る山がある環境にいる子供たちの運動能力を伸ばしたい
- ・第一リフトで登った景色、第二リフトからCコースに渡り、そこから見下ろす景色もまた格別です

⑥ 通年の新たな機能

- ・家族向けの冬期使用可能なアスレチック施設を考えてほしい

- ・芽室町の道の駅にして欲しい

⑫ 夏季の新たな機能

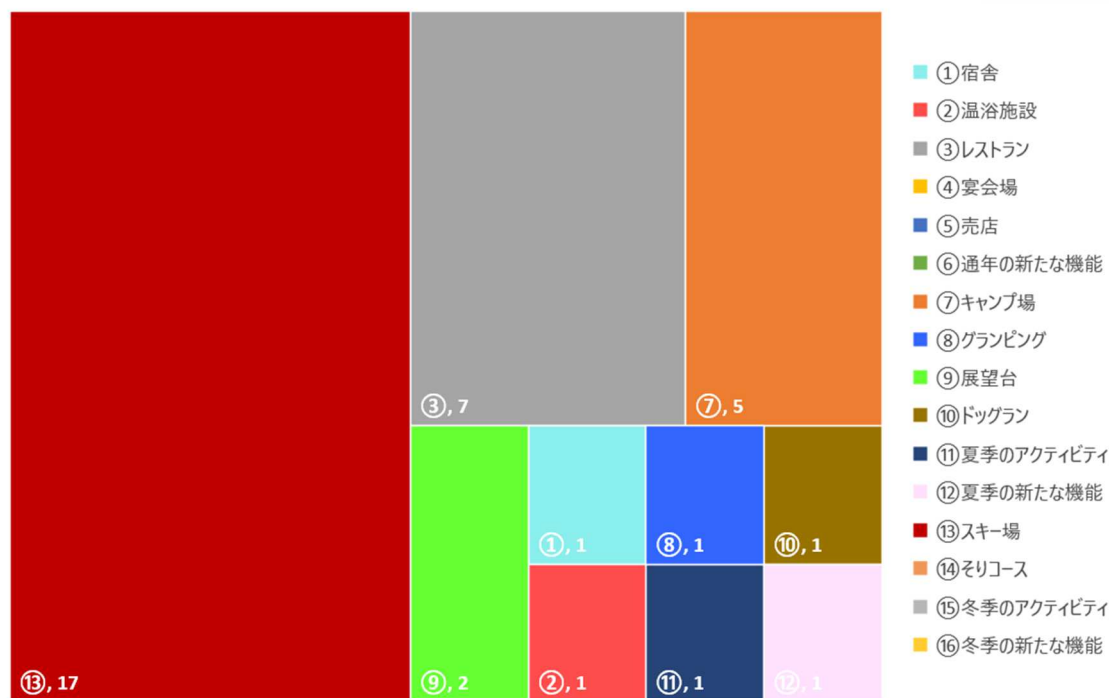
- ・車中泊スペースやカフェの展開
- ・パラグライダーの基地として使用

(2)ホットボイス

ア 概要

9月21日以降に、多くの意見をいただいております、新嵐山存続／経営について99件の投稿をいただきました。

イ 意見の傾向



【主な意見】

⑬ スキー場

- ・スキー・スノーボード・そり遊びができれば、十分です
- ・スキー場だけでも残してほしいです
- ・我が町にはスキー場がある。身近にウィンタースポーツができる。

③ レストラン

- ・スキー場だけで新嵐山と芽室町が今後も発展していけるわけもないので、当然一緒にあるレストランも必要だと思います
- ・四季をながめながらのランチは最高でした

⑦ キャンプ場

- ・キャンプなどの新しい取り組みには力を入れて、季節を問わず観光客が訪れたい施設としてやっていくべきです。

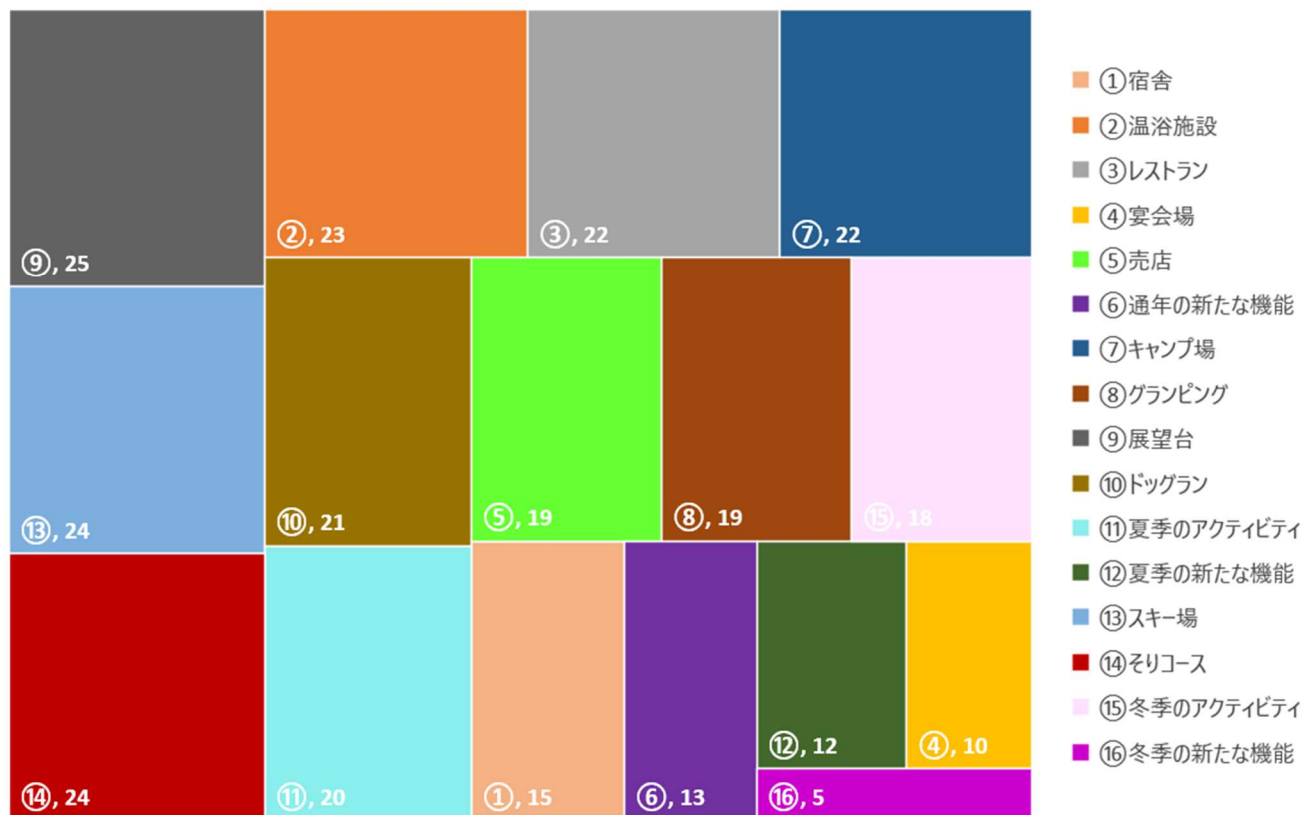
(3)町民ワークショップ

ア 概要

新嵐山スカイパークの存続や今後に関する意見を広く聴取する目的で、12月9日、11日の両日程で、合計で29名の方に参加いただい

た。ワークショップでは、事前に個人用シートを作成いただき、グループ内の意見を聞いた意見を出し合ってもらった手法で実施した。

イ 個人意見の傾向



【主な意見】

- ⑨展望台
 - ・展望台からの畑の風景や日高山脈の眺望を楽しめる貴重な場所である。
 - ・町内外の人が観光名所として必ず訪れます。
 - ・観光客を連れて、晴れた日に十勝平野を一望したい時に訪れたい
- ⑬スキー場
 - ・小さな山ならではの利用しやすさをコンセプトに
 - ・十勝在住の方が気軽に楽しめる場所にしてほしい
- ⑭そりコース
 - ・子どもたちが冬季にダイナミックに遊べる場所なので継続してほしい。

ウ グループ意見の主な内容

項目	意見
①宿舎	老朽化しており、町民利用少ないので不要ではないか。合宿所としてあったら良い。
②温浴施設	キャンパー、スキーヤーのためにも必要。ブラックアウト時、助かった。

③レストラン	町外のお客さんを連れて行きたい。昼食は気軽に、夕食は豪華に
④宴会場	町内会のイベントが減っている、大人数集まって宴会はしないので不要。
⑤売店	キャンプの人が食材を購入出来たら良い。町外の方に町をPRできるようなものがあったら良い。
⑥通年の新たな機能	色々な実証実験の場として提供。子ども向けの遊具を設置。サウナ。道の駅にしたい。
⑦キャンプ場	嵐山の看板であるため残す。
⑧グランピング	キャンプ好きはグランピングしない。維持にお金がかかるので、無くても良いのでは。
⑨展望台	景色が良いから絶対残す。嵐山のシンボルである。
⑩ドッグラン	規模が大きいドッグランが中々なく、利用者ニーズが高いため、継続してほしい。
⑪夏季のアクティビティ	パークゴルフは町民利用者がいるため、残してほしい。
⑫夏季の新たな機能	展望レストラン、マウンテンバイクのコースを新たに整備、軽い登山を行いたい
⑬スキー場	子ども達や老人の健康のためにも必要。黒字赤字問わず継続してほしい。
⑭そりコース	子育て世帯に必須
⑮冬季のアクティビティ	ファットバイクのコースを整備してほしい。歩くスキーのコースも継続してほしい。
⑯冬季の新たな機能	冬の星空を見れるところがあったら良い。薪ストーブ、雪合戦大会、スノーシューを使って登山。

エ 新嵐山スカイパーク全体の理想像や将来の姿

- ①町内外の様々な方がふらっと利用できる憩いの場所
- ②年齢を問わず人が集まってくる場所
- ③皆がやっていないことを新嵐山でやろう
- ④また来たいと思える自然あふれる癒しの場所
- ⑤新しい楽しみに出会える新嵐山
- ⑥暇だなんて思ったら新嵐山行こうってなるような場所
- ⑦四季を感じる五感が刺激される場所
- ⑧気軽に遊びに行っ、おいしいものを食べられる場所

(4)めむろ☆未来ミーティング

ア 概要

1月9日～1月13日の期間で、巡回型めむろ☆未来ミーティングを開催し、13会場で179名の方にご参加いただいた。

イ 意見の主な内容

- ①スキー場のコースを現コース数より少なくしても良いので、早期に再開してほしい
- ②町民還元などの支援策を検討してもらいたい
- ③レストランのメニューで、シンプルなものを入れてほしい
- ④ランドデザインの策定経過について、町民にも情報を共有してほしい
- ⑤新嵐山は歴史のある芽室町の財産であるため、後世につなぐ資源としてなくしてほしくない。

(5)新嵐山自分ごと化会議

ア 概要

2022年12月から、新嵐山活用計画の見直しをテーマに、無作為に抽出された2,000人の中から応募のあった町民から、36人の方により計4回の会議が開催された。

会議の中では、「一流のB級リゾート施設を目指す」という新しいコンセプトが創出され、5つの提案が取りまとめられた。

イ 提案の内容

- ①提案1:新嵐山スカイパークのコンセプトやそれぞれの機能ごとのターゲットを明確にすることで、誰もが楽しめる場所を目指す。さらに、住民が当事者として関わる仕掛けをつくる。
行政が行う主なこと:新嵐山はB級グルメのような立ち位置を目指す(本格的にスキーをするなら富良野やサホロ、お風呂なら十勝川温泉がある。B級はB級なりに狙う層があると思う。)
- ②提案2:利用目的の多様化を進めることで、町内・町外ともに利用者を増やす。
行政が行う主なこと:冬に遊べる子ども遊具設置(水遊び場の整備など)の検討。

- ③提案3:新嵐山を中心とした芽室町の魅力を再発見し、新嵐山の資源や良さをさらに活かす。
行政が行う主なこと:スキーのみならず、年に一度は色々な世代の人が集まれるような新嵐山の資源を最大限に活用できるイベント(祭りなど)の検討。
- ④提案4:高付加価値化などそれぞれの機能の見直しをさらに進め(特に宿舎機能)、スカイパークをさらに稼げる事業として事業の継続性を高める。
行政が行う主なこと:経費がかかってもスキー場のリフトの更新やメンテナンスを行う。
- ⑤提案5:新嵐山の変化(リニューアル)についての前向きな情報発信を行ったり、住民と行政が定期的に話し合う場を設けるなど、新嵐山の存在の伝え方を工夫し、情報発信を強化する。
行政が行う主なこと:偏らない老若男女のメンバーをランダムに集めた場を今後もつくり、新しいことを更新し続けられる新嵐山にしていく(もっと魅力ある新嵐山にしていきたいと思っている町民は多い。)